

平成30年度

「ハイパースムーズ東京」第1回幹事会  
議事録

日時 平成30年4月10日（火）午後2時から午後3時まで

場所 都庁第一本庁舎北塔34階34A会議室

## 1 開会

### ○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長

ただいまからハイパスムーズ東京の幹事会を開催いたします。本日、進行を務めます交通安全課長の池野谷と申します。よろしくお願いいたします。

ハイパスムーズ東京でございますが、今年度でこの計画も3年目ということになり、ちょうど中間になります。皆様のお力を借りながら少しでも成果の上がるものにしていきたいと考えておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

議題に入ります前に、人事異動もありましたので、自己紹介を改めてお願いします。事務局から始めて時計回りをお願いします。

## (2 自己紹介)

## 3 議題

### (1) 平成 29 年度事業実績

#### ○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長

それでは、お手元の会議次第により議事を進めてまいりたいと思います。議題1の平成29年度事業実績について、各局から説明をお願いします。

では、東京国道事務所さん説明をお願いします。

#### ○国土交通省東京国道事務所 五味交通対策課長

29年度「ハイパスムーズ東京」の事業実績ですが、交差点改良ということで甲州街道、国道20号の笹塚交差点を登録しておりました。これにつきましては、事故、渋滞、ともに激しい交差点ということから対策を進めてまいりまして、主に左折レーンの延長等の、区画線の引き直しの対策を進め、昨年9月に対策が完了しているところでございます。以上です。

#### ○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長

続きまして、警視庁さんお願いします。

#### ○警視庁交通部交通規制課 椎名管理官

警視庁が担当しております事業が大きく分けて二つございます。一つ目が信号制御の高度化・最適化、二つ目が交通情報板の整備でございます。

一つ目の信号制御の高度化・最適化については、路線対策と地点対策に分けられます。路線対策である需要予測信号制御とリアルタイム信号制御は、車両感知器で車が来る量を予測しながら信号制御をする対策でございます。地点対策である右折感應制御の対策は、右折車線の交通需要を把握して右折の青時間の調整をするものになります。

ご覧の表の中の需要予測信号制御とリアルタイム信号制御は、1の(1)にあります小金井街道と(2)にあります新小金井街道の2路線を対象に、7箇所の交差点で信号等を調整しているものでございます。

右折感應制御は、1の(3)の芋窪街道、東八道路、鶴川街道のそれぞれの交差点に実施したところでござ

います。

二つ目の交通情報板の整備については、渋滞箇所の迂回誘導のため、情報提供を行う路線対策になります。ご覧の表の中で交通情報板を、2の（1）の環七通り外回りの対策として西加平に、環八通り外回りの対策として瀬田に整備したものでございます。以上です。

#### ○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長

続きまして、都市整備局さんお願いします。

#### ○都市整備局 江水交通計画調整担当課長

都市整備局では、29年度中、客待ちタクシー待機列の解消対策、路上荷捌き対策、バス交通の利用促進の三つの対策に取り組んでおります。

最初に「客待ちタクシーの待機列解消対策」ですが、亀戸駅北口と銀座交詢社通りのタクシー待機列解消対策の委託検討を行いました。

亀戸駅北口は明治通りを挟んだ東西にタクシー乗り場とバス乗り場が設置され、時間帯によりタクシーの待機列が明治通りまで伸び、渋滞発生の要因になっております。ここについては、平成27年度、28年度と2か年にわたり、関係者と総合的な対策の検討を行ってまいりましたが、狭いエリアに多くの車両が乗り入れ、問題の解決には大規模な改修が必要であり、客待ちタクシーの観点から都市整備局において対策検討の継続が難しいことなどから、昨年度の委託において、これまでの調査結果等を取りまとめ、関係者の了解を得た上で、今後は江東区で対策の検討を行っていただくこととなっております。

次に、交詢社通りですが、銀座には、タクシーの利用が集中する午後10時から翌午前1時までの間、タクシー乗り場以外でのタクシーの乗降を禁止している地区があります。この乗降禁止地区の外にある交詢社通りの一方通行路において、午後11時ころから、規制解除後になじみの店へ向かうタクシーが一方通行路を塞ぐ形で待機列をつくるという状態になっていまして、この待機列解消に向けた対策の検討を行っております。

最後に、銀座ショットガンシステムの運用支援についてですが、都市整備局では銀座ショットガンシステムに導入の段階から参画をしており、現在も年2回の協議会に参加し、円滑・健全な運営の支援を行っております。

二つ目、「路上荷捌き対策」ですが、これはコインパーキング事業者に協力をいただき、既存のコインパーキングを荷捌き場として運用し、活用してもらう取組で、3月末現在で約750箇所、9,200台分の荷捌きスペースを確保しております。

三つ目、「バスの交通利用促進」ですが、都市整備局では、27年度まで警視庁交通管制課と連携し、空港アクセスバスの定時制等の向上に向け、PTPS車載器の導入補助を実施しておりました。昨年度は、28年度に導入した渋谷・池袋地区の導入効果について検証を行っております。なお、空港アクセスバスへの補助事業ですが、昨年度の効果検証をもちまして全て終了しております。以上になります。

#### ○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長

続きまして、建設局さんお願いします。

#### ○建設局 水飼安全施設課長

建設局では大きく三つございます。一つ目の「新宿五丁目交差点ほか」は靖国通りになります。この交差点は、首都圏ボトルネック対策協議会においても主要渋滞箇所・区間として選定されております。ここでは駐車車両による交通容量の低下が渋滞要因の一つとなっておりますので、これまでも赤系のカラー舗装や駐車禁止のPR看板設置等の駐車対策を実施してきました。ただ、それも時間が経ってきたということもありまして、さらなる駐車禁止の周知を図っていく必要があり、これまで設置した看板の表示の取り替えなどを行ったところです。

二つ目の田端新町一丁目交差点は明治通りになりますが、尾久橋通りとの交差点で、非常に交通量が多く、区道とも交差しているかなり規模の大きな五差路の交差点になっております。さらに、交通量に対して車線数も少な目ということと、流入部の車線幅も狭いということも重なっており、併走する車両が交差点付近で円滑に進めずに渋滞が発生している状況であります。こうしたことを踏まえ、減速マーク、ドットラインを設置し、走行区間の明確化とスムーズな速度低下を促すことによって、交通渋滞の緩和を図っているところでございます。

三つ目の多摩東公園交差点は鎌倉街道になります。府中方面に向けて交差点を先頭にして慢性的な渋滞が発生しておりまして、府中方面に向かう車のうち7割強が左折車であり、右折車と直進車が左折車の渋滞に巻き込まれている状況にあります。一方で町田方面に向かっては交通量が少なく、車両によっては、右折車で渋滞を把握している車両などは、ゼブラの横を走って交差点に向かうという状況も散見されており、府中方面については付加車線を延伸し、町田方面については付加車線を縮小することで、交通渋滞の緩和を図ることを実施したところです。以上です。

#### ○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長

最後に、当本部からご説明いたします。お願いします。

#### ○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長

青少年・治安対策本部の事業実績でございます。

まず、一点目は現況調査でございます。こちらは、平成30年度以降に実施する候補箇所を中心に、32箇所のボトルネック交差点について現況調査を行いました。

二点目、プローブ情報の活用でございますが、プロタナスという分析ソフトウェアを導入いたしまして、建設局さんのプローブ情報をお借りして、対策箇所の検討等の際にデータを用いたものでございます。また、平成27年度のデータを用いて、今後、どのようにハイパースムーズ東京の事業を検証していくかという検証方法の検討を行ったところでございます。

三点目が広報普及啓発でございます。本事業が28年度から始まりましたので、新たにロゴマークを制作し、ポスター、リーフレット等を制作するほか、年末の交通量の多い12月、そして年度末の3月を中心に、ラジオCMの放送や街頭の大型ビジョンによる動画の放映、雑誌やバスの外側板への広告掲載による広報などを行ったところでございます。

続きまして、8ページをご覧くださいと思います。

各局の皆様からご説明いただいた部分を含めまして、平成29年度の実績として対策を講じたボトルネック交差点の一覧を掲示したものになります。対策としては15箇所に対策を行い、直接対策箇所、寄与箇所をあわせると計36箇所のボトルネック交差点に対策を講じた形になります。こちらで、平成28年度と合わせまして、

合計で 57 箇所に対策を講じたこととなります。以上でございます。

**○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長**

ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等がございましたら、お願いします。

(「なし」の声あり)

**(2) 平成 30 年度事業計画**

**○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長**

続きまして、議題(2)、平成 30 年度事業計画について、各局からのご説明をお願いします。初めに、東京国道事務所さんお願いいたします。

**○国土交通省東京国道事務所 五味交通対策課長**

東京国道事務所では、交差点改良ということで、三点上げております。一点目が国道 6 号金町三丁目交差点、二点目が国道 357 号辰巳交差点、三点目が国道 254 号の池袋六ツ又陸橋交差点となります。ともに渋滞箇所に位置づけられておりまして、金町三丁目につきましては、交差道路側に京成線が併走しており、踏切の少し手前に停止線がありまして、走行上、通過するのに少し時間がかかるというところがございますので、停止線を交差点側に寄せましてコンパクト化を図っております。そうした工事を今、鋭意進めているところでございます。

国道 357 号の辰巳交差点につきましては、西行きの交差点手前の右折レーンを増やし、スムーズな右折ができるような工事を鋭意進めているところでございます。

三点目、池袋六ツ又陸橋交差点につきましては、変則的な六差路の交差点で非常に交通がふくそうしているところがございます。走行ルートが非常に複雑かつ不明瞭というところがございますので、関係機関と協議を進めながら、区画線の見直し、交差道路側の線形の見直し等を進めてまいりたいと思っております。説明は以上です。

**○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長**

続きまして、警視庁さんお願いいたします。

**○警視庁交通部交通規制課 椎名管理官**

それでは、30 年度の事業計画です。事業の内容は、29 年度事業と同じ対策内容となります。

一つ目の信号制御の高度化・最適化については、路線対策である需要予測信号制御とリアルタイム信号制御は、(1)の甲州街道と(2)の通称道路名でいう町田街道の 2 路線を対象に、計 4 箇所の交差点で信号等を調整するものでございます。

続いて、地点対策である右折感応制御は、(3)の計 8 箇所について実施するものでございます。

二つ目の交通情報板の整備については、交通情報板を 2 の(1)中山道、(2)環七通りと(3)小金井街道の 3 路線に対して 3 箇所に整備するものでございます。以上です。

**○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長**

続きまして、都市整備局さんお願いいたします。

#### ○都市整備局 江水交通計画調整担当課長

都市整備局ですが、客待ちタクシーの待機列の解消対策については、銀座の交詢社通りにおいて、昨年度検討した対策を進めたいと考えております。具体的には、問題となっている交差点直近に昨年春、開業した「銀座シックス」がありますが、ここには、午前9時から午後9時まで事前予約制で利用できる観光バスの乗降場所が整備されております。そこで、道路上に滞留しているタクシーを夜間帯閉鎖されているこのバス乗降場内で待機させるというもので、年度内の実証実験実施に向け、中央区、タクシーセンターとの協議を進めてまいります。その他、銀座ショットガンや路上荷捌き対策についても、関係者と連携した取組を行ってまいります。以上になります。

#### ○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長

続きまして、建設局さんお願いします。

#### ○建設局 水飼安全施設課長

今年度は2箇所を計画しております。一つ目は六本木六丁目交差点になります。ここは、環状三号線からの右左折車と、六本木通りの直進車によって慢性的な渋滞が発生している箇所でございます。この交差点から西側の首都高高架下部を相互通行から右折専用車線のみ形に変更することによって、交通の円滑化を図ってまいりたいと考えております。

二つ目は千住曙町の交差点になります。南北を走る川の手通りと東西を走る墨堤通り、それぞれ交通量が多い交差点、路線になっております。特に川の手通りは、荒川を渡ってきて千住方面に右折する車が多いことから、右折の滞留長を延長して走行性の改善を図ってまいりたいと考えております。以上です。

#### ○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長

では、当本部から説明をお願いします。

#### ○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長

一点目は、29年度と同様、交差点の現況調査でございまして、31年度以降の実施箇所を中心に34箇所を実施予定でございます。こちらは、なるべく今年度の早い時期、6月くらいを目安に調査するべく進めているところでございます。

二点目、プローブ情報の活用でございます。ハイパースムーズ東京は28年度から開始しておりますが、28年度の情報が29年度末に入手できましたので、こちらの分析を行いまして、どのように検証していくかということを検討していきたいと思っております。

三点目、広報普及啓発でございます。昨年度も12月と3月に集中的に行ったのですが、今年度から、この2カ月を啓発強化月間と位置づけまして普及啓発を行いたいと考えております。手法といたしましては、昨年度と同様に、交通安全イベント等と連携した広報やラジオCM、動画の放映などを行うほか、今年度はラッピングバスなどもやってみようと思っております。バスの広報につきましては、都内全域というわけにはいきませんので、どこの路線で走らせるかということにつきましては関係局の皆様にも情報などをいた

だきながら選定していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上の各局の皆様の事業をまとめたものが、15 ページの平成 30 年度の対策予定箇所一覧でございます。対策の実施箇所としては 18 箇所でございますけれども、直接の実施箇所が 12 箇所、寄与箇所が 34 箇所ということで計 46 箇所ですが、一部重複がございますので、43 箇所のボトルネック交差点に対策が実施できるということで一覧を記載しております。以上でございます。

**○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長**

30 年度事業計画についてのただいまの説明に対しまして、ご意見、ご質問がございましたら、お願いします。

**○警視庁交通部交通規制課 椎名管理官**

資料 2 と資料 4 の表について、情報板のところ、「寄与」と書いてありますが、これは、交通情報板で迂回を誘導する区間内にある交差点全てを挙げているのですか、それとも、区間内にあるボトルネック交差点を挙げたということでしょうか。

**○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長**

区間内にあるボトルネック交差点を挙げております。

**○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長**

ほかはございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

**(3) 平成 30 年度予算**

**○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長**

それでは、続きまして議題の 3、平成 30 年度予算について、事務局からご説明をいたします。

**○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長**

ただいまの説明をまとめたものでございます。ハイパースムーズ東京としまして 30 年度予算、記載のとおりでございますけれども、合計 2 億 1,000 万円、平成 29 年度予算に比べまして約 5,000 万円の減という形になってございます。以上です。

**○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長**

今の説明に対しまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

**(4) 報告事項**

**○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長**

続きまして議題の 4 に移りたいと思います。報告事項につきまして、事務局からご説明をいたします。

## ○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長

ハイパースムーズ東京事業の中で、新たな事業といたしまして広域交通情報板を検討するという項目がございましたので、そちらの検討状況につきまして報告をさせていただきます。

まず、平成 28 年度でございますが、右上に記載のとおり、Web アンケートを行いました。こちらでは、広域的な交通情報板については全体の 83% が「必要である」と回答しております。その中でも、車種別での貨物車の 86% が必要と回答しておりました。

見てみますと、右上のところのグラフでございますけれども、一般車のカーナビが貨物車ですと車幅の関係等で使えないという理由から、トラックのドライバーの方はあまりカーナビを使わないというように聞いております。ですので、交通情報板につきましても、こうした方のニーズが高いのではないかと思います、この検討の箇所としまして、物流の盛んな臨海部が良いのではないかとということで検討いたしました。

この中で、ちょうど東京港トンネルの東行きが平成 30 年度に開通する計画がございまして、現在、京浜島の南に、2 路線を表示している交通情報板が設置されているのですが、これを 3 路線表示にするということも考えられるのではないかとということで、こちらに導入することを中心に検討を進めてまいりました。

検討に当たりまして、当初、大型の板を設置するというのも検討いたしましたが、大型のものを設置しますと管制センターのシステムを変えなければならないですとか、大型の板は電波を阻害してしまうなどの問題もあるということで、現在使っているタイプの板を使いまして広域的な情報を提供できないかということで検討を進めました。

限られた板面ですので、3 路線の渋滞区間や所要時間を表示することが難しいということで、2 画面の交互表示という検討を進めてまいりました。道路の形は変えずに区間と時間が交互に表示されるような形でできないかということで行いました。視認性の点に関しましては、実際に情報掲示板にそれを映してみることなどで試験を実施したところでございます。

3 月 19 日に、当事務局と警視庁交通規制課、交通管制課の担当の方で現地に集合いたしまして、この板から 50 メートル、100 メートル、150 メートル離れた箇所からの視認性の確認を行いました。結果としましては、150 メートル離れると、なかなか既存の掲示板でも文字等を読むのは難しかったのですが、50 メートル、100 メートルの区間でしたら交互表示でも大丈夫なのではないかということが関係者からの意見として得られました。また、時間についても、2.5 秒、3 秒、3.5 秒と時間を変えて掲示いたしまして、そんなに長く置かなくても、2.5 秒程度でも大丈夫ではないかということの意見が多かったところでございます。

この結果を踏まえまして、今後も導入に向けて、さらに関係の課で検討を進めていきたいと思っております。以上でございます。

## ○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長

ただいまの報告事項につきまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。

## ○警視庁交通部交通規制課 椎名管理官

平成 28 年度の Web アンケートで貨物車 33% というのは、これは、貨物車のうち 33% しかカーナビを積んでいないという意味なのでしょうか。

## ○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長

これは、情報を入手したい媒体は何ですかという問いに対して回答があったもので、実際に何割が掲載しているかというものではございません。

**○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長**

カーナビを積んでいても、余りそこから情報を取っていないこともあるという理解でよろしいのでしょうか。

**○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長**

はい。

**○警視庁交通部交通規制課 椎名管理官**

その原因は、カーナビを積んでいないからということなのですか。

**○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長**

直接調べたわけではありませんが、車幅の広い貨物車では、一般車用のカーナビを利用すると案内されたところが通れなかったりすることもあるという情報もありますので、こうした理由から、貨物車では、カーナビからあまり情報を入手していないという結果になったのではないかと思います。調査の結果ではなくネットで得た情報では、トラック専用のアプリがあるそうで、貨物車ではカーナビよりもそういったものが多く利用されている状況があるようです。

私どもで調査した感じでは、広域交通情報板の必要性について、全体としては83%、特に貨物車では86%が必要であるとの回答でありましたので、物流車両の多い箇所が導入に相当だろうということが一義的理由でございます。

**○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長**

ほかに質問等はございますでしょうか。

**○警視庁交通部交通管制課 永井管理官**

この事業はオリンピックも見据えて渋滞解消に取り組んでいるのでしょうか。対策箇所の抽出はどのように行っていますか。

**○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長**

抽出の箇所としましては、28年度の事業が始まる前、ハイパースムーズ作戦として、同様のITSを使った対策を8年間行い、その成果を検証した際、双方向に交通量が多いような交差点ではITSを用いても効果が得られ難いのではないかと。偏りがあるような交差点の場合に信号等の交通量の最適化ということが効果があるのではないかとということで、そうしたITSの対策の効果の上がると見込まれる箇所について、この事業で対策を行うこととしており、直接オリンピックの箇所という形では行っておりません。

**○警視庁交通部交通管制課 永井管理官**

資料5に関連して、残りの31年度、32年度の予算はどのような計画ですか。

**○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長**

当初は、この事業は全体として5年間で100箇所に対策を行っていくという前提がございまして、初年度は、約2億6,000万円、全体で14億円という計画でございまして、その2億6,000万円程度の規模で毎年やっていくというのが当初のスキームでございました。30年度は29年度よりも減少してしまっているというところがあるんですけども、2億6,000万円を5年間ぐらいという形でいくのが当初の計画でございます。ですので、同規模で5年間やっていくというイメージです。

**○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長**

規模が同じという感じになるんですね。多少額は上下すると思うんですが、毎年、同じ規模で。基本的には同じ規模で割っていくと、結果的に、やる場所で多分金額がちょっと変わってくるので、その増減は多分出てくると思います。

先程のオリンピックの件ですが、事業のつくりからして、もともと効果が見込まれるところに対して対策を講じるので、その視点から見ると、オリンピックでここをやったほうが良いというところにダイレクトに選べるかというところ、一番やったほうが良いところは効果が見込まれない交差点だと選べないんですけども、結果としては渋滞が減ってくるので、オリンピックに向けて都内の車の動きを円滑化していくというところには寄与してくることになると考えております。効果が見込まれるところの中では、そういうところにも配慮しながら、対策を講じていくということでございます。

ほかにご意見等はございますでしょうか。

**○警視庁交通部交通規制課 椎名管理官**

事業概要を示した資料を推進会議には用意できませんか。また、目標としている対策箇所数の考え方や進捗状況を示した資料はないのでしょうか。

**○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長**

わかりました。推進会議では事業の進捗が何かわかるような資料をお出ししたいと思います。

**○警視庁交通部交通規制課 椎名管理官**

首都圏ボトルネック対策協議会と同じような渋滞対策箇所を実施していると思うのですが、調整状況はどのようになっているんですか。東京分については、ハイパースムーズ東京で実施しているのですか。

**○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長**

首都圏ボトルネックの東京分として433箇所ございまして、その中には対策としてハードの事業を行うもの、道路整備をするものもありますが、道路の整備の計画があるところを除くと292箇所になります。ハイパーとしては、その中から100箇所程度やっというところと、そういうことでスタートしています。

重なっているのですが、直接負っているわけではないという形です。なので、道路整備をしなくても効果が上がりそうところを選んでいくというような仕組みです。

○警視庁交通部交通規制課 椎名管理官

その292箇所の中の100箇所というのは、実施可能なところという意味ですか。

○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長

そのうちで、道路整備をしなくても効果が上がりそうな箇所ということで、毎年、各局と協議して決めていくということになっています。若干重複があるので、少し多目にやりながら、最終的には100箇所に対策を講じられるよう進めています。

推進会議では、一度説明した上で議事に入りたいと思います。

○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長

ほかはございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

### 3 その他

○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長

よろしいようでしたら、全体を通じて、もし何か聞いておきたいことがあればおっしゃっていただき、なければ、今会議でいただいた部分を修正しまして、推進会議が4月下旬に予定されておりますので、今のご意見を反映させるような形で臨んでいきたいと考えております。

事務局から、あと、連絡事項等がございますでしょうか。

○青少年・治安対策本部 大杉渋滞対策担当課長

先ほど触れましたが、推進会議が4月23日午前10時30分から、都庁第一本庁舎の42階の会議室のフロア、特別会議室Bで開催する予定でございます。開催通知につきましては別途お送りいたしますので、よろしくお願いいたします。当日の会議は本日と同様、ペーパーレスにより公開の形で行う予定でございます。よろしくお願いいたします

○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長

質問等がなければ、以上で幹事会は終了となりますが、よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

### 4 閉会

○青少年・治安対策本部 池野谷交通安全課長

以上でハイパススムーズ東京の幹事会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。